



住みやすい町を目指して… 60

自治会再考！ つなぐ・繋がる

元自治会長連絡協議会長 元神山自治会長 きたむら しげはる 北村 重治さん(神山在住)

【はじめに】 令和7年4月、写真右側の私から新会長の大舘郁夫さんにバトンタッチ。また組長さん19人、そして新任／継続を含む専門委員さんや民生委員さん18人の計37人の役員さんが新執行部となり、神山自治会（会員数250軒強）の新年度がスタートしました。初めまして、私は今年の3月迄3期6年間、神山自治会の会長を務め、令和5年度では26ある松田町の自治会の連絡協議会の会長を1年間務めさせて頂きました北村重治と申します。各自治会の運営方法が異なること、また人によりさまざまなご意見があることは承知しておりますが、私なりの自治会についての想い、考えを述べさせていただきます。

【自治会って何だろう？】 学校や会社その他と違い、自治会は生活者の集りであり、年齢・仕事・嗜好等の異なる人達の集りです。そこには自分はやらなくてもよいが誰かはやらなくてはならない事があり、その対応が必要です。そしてそれを行うのが自治会です。

【自治会での原則】 “出来る人が出来る事をやる” 「今日は出来ない、高齢で出来ない」は、「今日ではない日は出来る、若い時はやって頂いていた」ということです。

【自治会で大事なこと：繋がり】 同県人・同町民・同自治会員・同組内は、意識が有る／無しに関わらず、一步外に出ると愛着（繋がり）を感じます。特に自治会内、組内は歩いて行ける距離。突発の有事の際、そこに居るということは非常に大事。東日本豪雨の際、9割以上の救急車の出動要請を断らざるを得なかったとの報道を見ました。有事発生時、また平時での会員の近くの用水路清掃を行う等大事な繋がりです。また、神山には神社があり、年2回の催事・清掃を行っております。催事の際には町長様・町議会議長様に列席を賜り、時間を越えた繋がりを継続しております。他に自治会内での情報共有等繋がりもあります。

【あとがき】 まとまりの無い文章、失礼しました。自治会の大事さを少しでも感じて頂けたら幸いです。



「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体で、このコーナーに掲載して下さる方を募集しています。
希望される方は下記までご連絡ください。

**令和7年 第3回定例会は
9月9日(火)開会予定**
ぜひ、傍聴にお越しください。
発熱等症状がおありの方は、ご遠慮ください。

議会広報広聴常任委員会
委員長 吉田 功
副委員長 武尾 哲治
委員 北村 和士
委員 中津川 定雄
委員 秋田 谷光彦
委員 平野 由里子

夏本番を迎え、松田町内では青空の下、元気な子どもたちの声や蝉の鳴き声が響き渡る季節となりました。今号では、6月定例会の報告をはじめ、町政に関わるさまざまな話題を取り上げさせていただきます。皆様にとって、少しでも議会の動きが身近に感じられるきっかけになれば幸いです。町民の皆様の声が、よりよい町づくりの原動力となります。今後も、分かりやすく、親しみやすい広報誌づくりを目指してまいりますので、ご意見・ご感想をお寄せいただければ嬉しく思います。
(武尾)

編集
あとがき

